FAVOR

フエバー体温計

正確で安心！

日本政府検定済

OVAL CANARY

CLINICAL

【危険】
⚠乳幼児/子供だけで使わせないでください。
「噛んで割ったり飲み込んだり、けがをする可能性があります。」
⚠落としたり、強いショックを与えないでください。
「本器はガラス製であり、計測不良・破損の原因となるおそれがあります。」

■使用上の注意

□一般的にガラス製品は破損すると鋭利な破片となります。破片は十分注意して取り扱ってください。
□お子様の手の届かないところに保管してください。
□暖房器具の近くや、直射日光が当たる場所など、42℃以上になるところには、体温計を置かないでください。破損することがあります。
□体温計は精密なガラス製計量器ですので、落としたり衝撃を与えないでください。水銀切れをおこしたり、留点内部が破損し正しく体温が測れなくなる可能性があります。
□運動、入浴、食事のあと30分間ほどは検温を避けてください。体温が高めに表われます。
□口中舌下検温の場合、わき下検温の結果よりも少し高めになるのが普通です。
□検温前に体温計の水銀が35℃以下に下がっていることをお確かめください。また検温後も35℃以下に下げておいてください。
□誤って体温計を破損し廃棄する場合は各自治体のルールに従って、廃棄してください。

■性能

検温範囲	35.0～42.0℃
目盛	0.1℃

■検温時間

口中舌下検温	3分以上
わき下検温	5分以上

検査方法や検温時間は、いつも一定にして測ってください。検温中は感熱部が検温部位からずれないようにしてください。また途中で体温計を取り出すと正しい体温は測れません。

■裏面の取扱説明書を良く読んで、ご使用ください。

一般医療器
一般名称：器16体温計(35397000)
水銀毛細管体温計
販売名称：フエバー体温計

日本計量器工業株式会社
東京都千代田区神田多町2-9

届出番号 13B3X00400001026
製造販売業者 1383X00400

お客様相談室
TEL 03-3256-3601
10:00～16:00(月～金・祝日を除く)

4 975932 154038

紙 台紙　プラ ケース SP:PET

本製品を正しくお使い頂くために、この《取扱説明書》を必ずお読み頂き、大切に保管願います。

⚠ この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容を示しています。

【危険】
⚠乳幼児/子供だけで使わせないでください。
「噛んで割ったり飲み込んだり、けがをする可能性があります。」
⚠落としたり、強いショックを与えないでください。
「本器はガラス製であり、計測不良・破損の原因となるおそれがあります。」
【禁忌・禁止】
⚠一度でもショック(衝撃)を与えた体温計は、使用しないでください。
「正確な体温を表示しません。」
⚠直腸検温、小児の口中舌下検温は絶対に避けてください。「誤って破損してケガをすることがあります。」
⚠感熱部を強くこすったり、裸火(ライター)などで加熱する様なことは絶対に避けてください。
「感熱部が破損してケガをする可能性があります。また、水銀が飛散して蒸気を吸引する可能性があります。」

形状、構造等

①フェバー体温計は水銀を用いたガラス製体温計です。
②留点(図1)とは、上昇した水銀が自然に下がらないような仕組みを施した部分です。



(図1)

取扱上の注意

①一般的にガラス製品は破損すると鋭利な破片となります。破片は十分注意して取り扱ってください。
②お子様の手の届かないところに保管してください。
③暖房器具の近くや、直射日光が当たる場所など、42℃以上になるところには、体温計を置かないでください。破損することがあります。
④体温計は精密なガラス製計量器ですので、落としたり衝撃を与えないでください。水銀切れをおこしたり、留点内部が破損し正しく体温が測れなくなる可能性があります。
⑤体温計が破損して、水銀が貴金属に付着しますと取れなくなることがあります。もし付着したときには貴金属店にご相談ください。
⑥誤って体温計を破損し廃棄する場合は各自治体のルールに従って、廃棄してください。

使用目的、効能、性能

①体温を測定するために使用する測定機器です。
②本器はガラス製の細い中空管であり、上部と下部が密封され先端に水銀が充填されています。
毛細管原理に基づいて機能し、熱によって目盛付きの管に充填された水銀が比例的に膨張し、体温を測定できます。

■使用目的
体温測定に使用すること。
■効能
一般体温測定が出来る。
■性能

検温範囲	35.0～42.0℃
目盛	0.1℃

使用上の注意

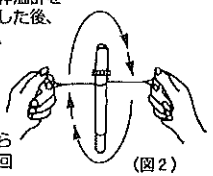
⚠①検温後の体温値が不自然と思われるときは、もう一度測り直してください。
⚠②誤って口中で感熱部を割った場合には、水を含み、口の中のガラス片や水銀を十分洗いだしてください。体温計に使用されている金属水銀は誤って飲み込んでもほとんど体外へ排出されますが、処置は医師にご相談ください。
⚠③吐き気のするときは、口中舌下検温は避けてください。測定中、嘔吐して付近の器物が汚損したり、体温計が破損して思わぬケガをするおそれがあります。
④検温方法や検温時間は、いつも一定にして測ってください。検温中は感熱部が検温部位からずれないようにしてください。また途中で体温計を取り出すと正しい体温は測れません。
⑤運動、入浴、食事のあと30分間ほどは検温を避けてください。体温が高めに表われます。
⑥水を飲んだり、おしゃべりしたあとしばらくの間、口中舌下の検温は避けてください。
⑦口中舌下検温の場合、わきの下検温の結果よりも少し高めになるのが普通です。
⑧検温前に体温計の水銀が35℃以下に下がっていることをお確かめください。また検温後も35℃以下に下げておいてください。

検温方法

①わきの下での検温は、汗をよく拭きとり、感温部をわき下のくぼみ部におし当て、密着させてわきを閉じてください。検温中はわきを開けないでください。
わきの下での検温時間は、5分間以上です。
⚠②口中舌下での検温は、感熱部を舌のつけ根部に差し入れ舌で押え密着させてそのまま口を閉じてください。検温中は口を開いたり、体温計をかまないように注意してください。口中舌下での検温時間は、3分間以上です。また、検温後の体温が不自然だと思われるときは、もう一度測り直してください。

水銀の振り下げ方法

プラスチック容器の中に体温計を入れ、しっかりとふたをした後、ヒモの両端を指先にかけ、よりをかけて強く両方に引き、回転させると遠心力で水銀は下がります。
一回で35℃以下に下がらない時は、同じことを数回繰り返してください。


(図2)

⚠ヒモは結びつけてありますが、結び目が外れて体温計の故障の原因となったり、人に当たってケガをする恐れがありますので十分ご注意ください。またヒモが古く弱くなっているときは、ヒモが切れる危険がありますのでお止めください。

アフターサービスについて

品質には万全を期しておりますが、ガラス製品でございますのでお買い求め後の運搬には十分ご注意ください。
ご購入後すぐに機能をお確かめください。
ご不審の点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご相談ください。割れ/ヒビは保証の限りではございません。